

育休復帰率 96% 働き方改革に取り組む BOD が 「男女共同参画の実現」に向けた資料を公開

多様な働き方の導入と職場改善で、女性従業員の社会進出をサポート。

アウトソーシングサービスを提供する株式会社 BOD（本社：東京都豊島区南池袋 2 丁目 49 番 7 号、代表取締役：田中大善、以下 BOD）は 7 月 11 日に「男女共同参画の実現」をまとめた資料を公開しました。女性従業員が 64% を占める BOD では、男女共同参画の趣旨に賛同し、働き方改革を実施しています。詳細は当社ホームページをご覧ください。
https://secure.bod-grp.com/document/2024_danjyo-society

資料公開

6/23-6/30 は
男女共同参画週間

2024 取り組み紹介
「男女共同参画社会」
の実現に向けて

CONTENT

全ての人が活躍できる社会とは？
男女共同参画社会とは？

株式会社 BOD
<https://www.bod-grp.com/company/strategy/>

世界経済フォーラム（WEF）は 6 月 12 日、「Global Gender Gap Report」を公表し、各国で男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数（Gender Gap Index : GGI）を発表しました。「経済」「教育」「健康」「政治」の 4 つの分野から算出されるこの指数によると、日本は過去最低だった前年の 125 位からは順位が上がったものの、今年は 146 カ国中 116 位となり、依然として低い順位にとどまりました。



女性従業員が64%の比率を占めている当社では、女性の社会進出における課題を払拭するために、企業として男女ともにそれぞれのライフスタイルに合った働き方改革の実現に取り組んでいます。男女共同参画週間の趣旨に賛同して、「男女共同参画社会の実現に向けて」の取り組みをまとめた資料を公開しました。

資料公開



■掲載内容

- ・ 全ての人が活躍できる社会とは
- ・ 職場に活気 数値でみる BOD の男女別比率
- ・ 家庭生活の充実を実現するワークライフバランス
- ・ 企業ができる地域力向上への取り組み
- ・ 今後の取り組み報告

■男女共同参画資料 https://secure.bod-grp.com/document/2024_danjyo-society

■FACTBOOK https://www.bod-grp.com/company/BOD_FACTBOOK_2024.pdf

■地域貢献のための清掃活動

持続可能な社会を目指し、BOD では SDGs11 番目の項目である「住み続けられるまちづくり」の実現に向けて、BOD の本社がある東池袋周辺の清掃活動を行っています。

毎月、部署を横断して約 20 名の従業員が参加し、楽しくゴミ拾いをしています。清掃活動は、町をきれいにするだけでなく、従業員同士のコミュニケーションの場にもなっています。



■ワークライフバランスを保つための多様な働き方の導入

当社は女性従業員の割合が高く、育児休業後の復帰率は96%です。この数値は、2023年5月に厚生労働省が発表した※69.5%を大幅に上回る数値となっています。仕事と家庭を両立させるために、BODではフル在宅勤務制度や、フレックスなどの多様な働き方を導入し、従業員のワークライフバランスを保つ支援をしています。

※厚生労働省発表：「第一子出産前後の妻の継続就業率・育児休業利用状況」より、出産後 継続就業率の数値

育児休暇は、女性従業員のみでなく、男性従業員も取得しています。「男性の育児休暇」については、段階的に法改正がなされ取得しやすい環境へと移りつつありますが、まだまだ取得をためらう風潮があるのも事実です。BODでは、男性従業員が育児休暇を取得した経緯や、実際に取得した感想についてインタビュー記事を掲載しています。詳細は「育休の取得こそ、妻への恩返し」記事をご参照ください。

<https://www.bod-grp.com/recruit/interview/childcare-leave/>

育休の取得こそ、妻への恩返し

男性の育休取得者インタビュー



育休休暇中の過ごし方、その時感じたこと

沐浴に緊張して、初めて腰痛を経験

育児休暇に入ってから1日のスケジュールですが、生まれて間もない子どもの生活は、数時間おきのミルク、おむつ替えはもちろんですが、合間には自分たちの食事の支度、洗濯や掃除、食材等の買い出し、入浴(沐浴)と、1日が終わるまで過ぎていきます。自由な時間が少ないようにも感じますが、悪い点では、自由にできる時間はスマホを介して子どもの言葉や動画をたくさん撮っていました。子どもの表情やしぐさはいかにいいだけでなく、想像よりも面白いのでLINEスタンプを作ったりもしました(笑)。

実際にお話を聞いてみて大変だったことは、沐浴ですね。最初は肩とか奥とか目に入らないように、すごく神経を使いながら腰を曲げてやっていたので、初めて腰が痛いという感覚を味わいました。身体的に一番きつかったかもしれません。

パパとママになるために一緒に成長できる

育休中は1日中、妻と子どもと3人で居るので、日々の成長を実際に目の前で、近くで見られることが良かったです。それに、私自身も育児の経験を通して、一緒にパパとママになるための成長ができる期間でした。ただ、子どもとばかり接するのでも疲れてくるので、妻と私がお互いに自分の時間、趣味の時間をしっかり確保して、バランスを取ることを意識していました。おかげで本当に有意義な時間を過ごすことができたと思っています。

育休が終わわり、いよいよ復帰

新たな気持ちで職場復帰

私の場合、復帰するタイミングで新しい業務に轉任したため、新鮮な気持ちでスムーズに復帰できたと思っています。6月の復帰準備もしていないので、忘れていたことも全然たくさんありました。ですが、復帰後すぐに業務の進捗や業務内容などについては、上司の指導や先輩からのフォローが非常に丁寧で、スムーズに業務に慣れていくことができました。完全に職場復帰を果たせたのは、復帰後1か月経った頃でしょうか、ある程度慣れていくと結構楽しいと感じています。

仕事と育児の両立もスムーズに...

子どもと子育てを両立させるから、妻も私も両立できるようにしてあげたい。妻の復帰は「子育ての負担は私と子どもで分担します。妻が復帰するから、自分は洗濯する。とか、片方だけはやっている。片方は別のやらなければならないことをするのよ。自然とできる関係性だったんです。だからどちらかに任せるとは、掃除や洗濯も一緒に協力してやる。妻の負担は私が引き継ぎました。早急な復帰は自分たちの責任で受けたいので、妻が仕事を再開したら、うまい具合に家事が回らなくないようにしています。

当社は、男女ともに活躍できる社会を実現するため、継続的な取り組みが必要だと考えています。引き続き、全従業員がその能力を十分に発揮できる職場作りと地位向上を目指し、取り組んでまいります。

■ 取り組み資料 https://secure.bod-grp.com/document/2024_danjyo-society

■株式会社 BOD について

代表者：田中 大善

設立年月：2017年1月23日

所在地：東京都豊島区南池袋2丁目49番7号

会社HP：<https://www.bod-grp.com/>

事業内容：総合アウトソーシング会社



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 BOD 事業開発本部 広報・PR 課 bod_pr@bod-grp.com